

自然エネルギーが人々の生活に根を降ろす光景として、 こんな **夢** はどうでしょうか？

村のお爺さんが山に柴を刈に行き、夕方には、その柴で公民館のお風呂を沸かして、汗を流します。湯沸かしは、村の所有のコージェネレーションなので、近在の電力源にもなり、売電します。お婆さんは、川に洗濯に行かないで、水力発電の電気で、洗濯します。その水力発電機も、村の所有です。機械を動かしているのは、若い **村のエネルギー屋** さんです。彼が作る電気は、電線を伝って他の村に繋がっていて、売り買っています。

この夢には、ポイントが幾つかあります。発電機が村の所有になっていること、その管理とそれにかかる労力を地元の人が担っていること。ノウハウは、ブラックボックスになっていず、公になっていること。電線は、全国と繋がっていて、融通しあっていること。利益はコミュニティのルールで配分されること。

これに、必要な資機材が、共同出資の組合等を通して、適正な価格で流通すること、が加わっていると良いですね。

こうした姿は、地産地消に基づいた **循環型の社会** のベースです。大企業に握られている生産手段を、地域の人々が取り戻して行くゴールです。この過程を通して、都市は適正規模のコミュニティーに再編されて行きます。コミュニティが再編されるに連れて、自然エネルギーが、生活に根を降ろして行きます。

この動きの核になるものとして、私達は、「**エネルギー工房**」を考えています。地元にあるエネルギー源を利用し、自分達でエネルギーを作り、管理し、利用する実践の場です。地域住民などによって支えられた、エネルギーのお百姓さんと言えるかも知れません。



ここにも出前に来て欲しい という方は、下記まで、ご連絡下さい。
ご相談させていただきます。

〒355-0316 埼玉県比企郡小川町角山208-2
国際NGO ソーラーネット 事務局
Tel 0493-71-1102 Fax0493-71-1104
E-mail : tt8k-skri@asahi-net.or.jp
http://solar_net.at.infoseek.co.jp/



風呂に水をはっておいね

◆ 手作り太陽電池は、安い？

35Wクラスの市販ものと比較したら、安いでしょう。しかし、連系用の大型のものと比較すると、W当りの単価では割高です。私たちは原材料のセルを大量に購入する仕組みを持っていないからです。皆で共同で購入できるようにして行ければ、安くなります。

◆ 「手作り太陽電池」には、何が必要？

出前講座の後にも、続けて自分達で手作り太陽電池を作って行きたいグループや団体は、ラミネーター(定価 992,250円 税込)が必要です。ソーラーネットの主旨に賛同して下さる団体には、半額補助を行います。
10台/1年間に限りの予定です。詳細はソーラーネットまでお問合せ下さい。

♡ ご存知ですか？

今流行りの **IHクッキング** をとりつけると、4kも5kw(50A)も、電気を使います。50A契約の家ならば、100A、10kwとなります。ソーラーネットの支援する電気のない地域では、50Wの太陽電池が、宝物です。実に200軒分にあたりますね !!



私達の活動は、皆さんの温かいカンパによって
進められています。

カンパ先：

郵便振替 口座番号：00110-8-579131
口座名義：ソーラーネット

協賛団体：自然エネルギー事業協同組合レクスタ 他

「昔、昔、お爺さんは山に柴を刈りに…」 実現プロジェクト

— 太陽電池を組み立てる —

手作り太陽電池 出前講座

小型太陽電池の作り方を、お教えしま〜す。

全国各地へでかけま〜す



ラミネーターカー

◆ 何をするの？

簡単な道具と機械(ラミネーター)を使って、写真のような35Wクラスの太陽電池を、皆で組立てます。初めての方が、4~5人で、5時間あれば、完成できます。

自分達の地域で、やってみたいと言う方は、場所の設定と宣伝を行って下さい。

◆ 出来上がった太陽電池は？

原材料代は 33,200 円です。自分で利用したいと言う方は、この分を支払って頂きます。

ソーラーネットには、「太陽電池の揺りかご」というコーナーがあります。購入したものをここに寄付して頂きますと、揺りかごで一時的保管され、主として海外で電気を必要としている所に、国際 NGO 等を通じて送り届けられます。

ご購入されない物は、ソーラーネットの資産となります。

◆ 費用は？

この活動に共鳴して下さるグループ・団体であれば、原材料費、交通費、講師料等、ソーラーネット持ちとします。宿泊が必要となる場合は、お願いする事もあります。地元の主催団体さんは、参加者から参加費(おおむね 3,000 円/人)を頂いて下さい。その半額をソーラーネットに寄付して頂きます。そして残りの半金を、地元の主催団体が受け取って下さい。その中から会場費を支払ったり、地元の活動に使って下さい。

◆ 何のためにやるの？

つぎの社会は、自分たちの必要とするエネルギーを自分たちで作り、利用する「エネルギーの地産地消」がベースになると考えています。小さな太陽電池を手作りしながら、どうやってたらそうなるか、皆さんと考えたいと思います。



製作風景



シブヤ大学の皆さん



ソーラーネットって、何？

1995年から、インドネシアなど、未電化地域を多く抱える国々へ、太陽電池の技術移転を行って来た国際NGOです。手作り太陽電池は、この活動の中から、産まれて来た技術です。先進国から完成品を購入するのではなく、自分達で製作することによって、現地の仕事にして行って欲しい、と言う願いがこもっています。



ラミネーターカー？

太陽電池を仕上げるために つなぎ合わせたセルをラミネートします。風雨にさらされても、寒暖の差にも負けない太陽電池のパネルにするには、しっかりと空気を抜いて高温で強化ガラスに接着します。そのラミネートの機械を動かせるだけの太陽電池を、トラックに乗せて出前講座に伺います。